

運転手から、
「正常な運転ができないほど」の睡眠薬を検出
危険運転致死傷の疑いで、運転手を逮捕

工事現場にトラックが突っ込む 作業員1人が死亡

3人が重傷

2021/7/20(火) 19:02

工事現場にトラックが突っ込んだ事故で、睡眠薬を服用して運転した疑いでトラックの運転手の男が逮捕されました。

今年1月、大阪府の阪神高速で、高所作業中の現場にトラックが突っ込み、作業員1人が死亡し、3人が重傷を負いました。

その後の調べで、トラックの運転手の尿と血液から、正常な運転ができないほどの睡眠薬が検出されたため、警察は危険運転致死傷の疑いで、運転手の男性容疑者（31）を逮捕しました。

警察によると容疑者は、事故の前日に睡眠薬を服用したと供述している、ドライブレコーダーにはトラックがふらついている様子が映っていたということです。

調べに対し、容疑者は「眠気はなく運転に問題はないと思った」と容疑を否認しています。